

## 主な論点（案）

- ① 企業の成長のための資金（成長資金）にはどのような種類や機能があり、現状はどうなっているのか。こういった資金は、企業の成長・価値向上をどう支援するのか。
  - ✓ 種類：エクイティ出資、メザニン・ファイナンス、中長期融資等
  - ✓ 企業の成長サイクル等における活用法（例：国内外の企業の買収、一部事業の売却、事業承継、事業再生）
  - ✓ マクロ経済への効果（経済成長、所得収支等）
- ② 諸外国と比べて成長資金に関する市場が小さい要因は何か。
  - ✓ マクロ経済環境、制度面、非制度面（例：投資家等における認知度、人材不足）の制約への対応
  - ✓ 企業側の自発的な案件形成を促進するための環境整備（例：収益性向上に対する意識の向上）、金融機関等による目利き機能・助言機能
- ③ 成長資金の担い手は誰か。どのように役割分担し、協働するか。
  - ✓ 案件の発掘・組成、資金の提供、実施・管理における、都市銀行、地銀、信用金庫、プライベート・エクイティ・ファンド、政策金融機関、事業会社等の役割
- ④ 我が国で種類株が十分に利用されていないのはなぜか。ベンチャー企業の資金調達手段の多様化を図るべきではないか。
  - ✓ 潜在的なニーズが大きいと考えられる種類株式の活用促進
- ⑤ 地域企業、地域金融機関の抱える課題やニーズは何か。地域特有の課題を踏まえた資金供給の在り方はどうあるべきか。特に、企業の様々なライフステージにおける実態を踏まえて、どうサポートするか。
  - ✓ 人口動態の長期的な変動等を踏まえた資金需要の見通し、地方の産業・企業における人手不足に対する対応（地域の企業の新陳代謝の促進、穏やかな集約化を図りつつ収益性・生産性の向上）、人材不足に対する対応（中小企業の人材確保・定着を支援する仕組み）
  - ✓ 事業性を重視した融資・助言、創業・新事業展開、海外展開、経営改善・事業再生、地域の中核企業への資金供給等（再生支援協議会スキームや信用補完制度等を含む。）

- ⑥ 景気動向等に大きく左右されてきたこれまでの資金供給の歴史を踏まえ、安定的な成長資金（特に、中長期のインフラ整備等の資金）の供給をどう確保すべきか。
- ⑦ 成長資金の供給促進における官の役割は何か。官民ファンドをどう評価するか。どのように民を補完するか。
- ✓ 民間金融機関の間では、政策金融機関が中長期資金の供給等に果たすべき役割への期待があることと、民間金融機関による中小企業向け貸出の障害となっているとの指摘についてどう考えるか。

（以上）